

創立150周年記念式典を挙行了しました

2月28日(水)に「伊勢崎市立三郷小学校創立150周年記念式典」を盛大に挙行いたしました。

以前にもお伝えしましたとおり、式典は「3部構成」で執り行いました。

まず、「オープニング・セレモニー」では、本校正面玄関前に設置いたしました、「本校の学校教育目標と本校の位置を刻んだ碑」の除幕式を行いました。代表児童による挨拶では、「未来に向かって、世界に向かってはばたく人間になりたい」と、力強い、すばらしいメッセージがありました。感動しました。

その後、参加した6年生全員で、150周年を祝って盛大に「乾杯!!」をしました。(安心してください、ペットボトルのぶどうジュースです)。

6年生の皆さんが大きくなって、再び三郷小を訪れた時、この記念碑を見て小学生時代を思い出してくださいね。

第1部式典以降は、6・5年生が参加して行いました。臂市長さんや三好教育長のご祝辞をいただいたり、式典実行委員長や私(校長)の挨拶等がありました。

児童による「三郷小学校のあゆみ」の発表、「創立150周年の節目に在籍して」の作文発表は本当に心動かされるすばらしい発表でした。最後の6年生全児童による三部合唱「春に」も圧巻でした。

第2部式典は、本校卒業生でミュージシャンの、小倉しんこうさんによる記念講演でした。「+×÷」という演題で、自らの小学校時代のことをお話ししてくださいだったり、現在の音楽の仕事のお話をしてくださいだったりしました。実際、キーボードを使って、ご自身がつくられた楽曲を弾いてくださいました。児童からは歓声があがっていました。児童による「謝辞」と6・5年生全員による合唱「Wish～夢を信じて」も胸を打ちました。

今回、運営等はすべて6年生や5年生が行いました。さすがは三郷小の子どもたちです。力があります。パワーがあります。すばらしいです。絶賛です。

私からは子どもたちに、「この150周年記念事業を契機に、より一層ここ三郷小学校や三郷地区に愛着と誇りを持ち、本校で学んだことをもとに、百難に屈することなく、拳世の浮華に迷うことなく、至高の望みと至剛の志を持って、世のため・人のために尽くす立派な大人になってほしい」と挨拶の中で伝えました。



△記念碑除幕後



△「かんぱ～い!!!」



△本校のあゆみ発表



△「150周年に在籍して」作文発表



△6年生三部合唱「春に」



△小倉さん講演

子どもたちのみずみずしい感性 いいですね

「三郷っ子だより」第17号を発行以降、上毛新聞に掲載された本校児童の力作を以下

に紹介いたします。どの作品も子どもの感性が光るものばかりですね。

<2月8日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>

リモートでばあちゃんみまう日曜日 3年 奥原 結さん
しんねんもげんきにたのしくあそんだよ 1年 武藤 楓さん
えきでんを見ながらこたつでねてしまう 3年 反町 香織さん

<2月15日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>

おにごっこ走ればつめたい風あたる 4年 鈴木 里怜さん
たくさんのおせちの上ではし回る 6年 森本 希美さん
こたつでね洗濯物が足あたる 6年 梁瀬 恵愛さん

<2月19日(月)「上毛ジュニア俳壇・朝の一句」掲載>

おさんぽはいろんなきせつをたのしむこと 3年 栗田 薫さん

<2月29日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>

かるたとりスピードしょうぶだしんけんだ 1年 高橋 風真さん



¥3,710,000— どうにかしたいのです!!



唐突で申し訳ありませんが、「3,710,000円」とは、本校のマーチングで使用している「半袖上衣140着」「ショートパンツ70着」「ハイウエストスカート(ツーボックス)70着」を新規購入した場合の、見積合計金額(税込み)です。

本校のマーチング・バンドは伝統と実績があります。今年度の第76回運動会のオープニングでも披露しました。大変すばらしい教育活動であり、子どもたちの大きな成長に必ずやつながるものであるものと、保護者の方々・三郷地区の皆様方等々、観る者を魅了してやまない活動となっております。特に今年度は、入場制限や活動制限のない久しぶりの運動会だったこともあり、ご覧いただいたご来賓の方や地域の皆様方から、「よかった、とってもよかった」「感動した」「涙が出ちゃったよ」「三郷小のマーチングはいいね」「かっこいいね」等々、たくさんのお褒めのお言葉を頂戴いたしました。

ところが、現在使用しているマーチングの衣装は、20数年前から大切に代々使われてきた物のため、さすがに劣化が著しい状態にあります。運動会后、クリーニング店に出そうとしたところ、お店の方から「これをクリーニングすると破れてしまいます」とクリーニングを断られたという話を幾つか聞いております。私も手に取って確認しましたが、とにかく布地(生地)が薄くなっており、例えば、ショートパンツの股や尻の部分は摩耗が著しく、中には「これでは下着が透けてしまうかも」と心配される物もありました。



そこで、専門業者に見積もりをお願いしたところ、このような金額になったというわけです。「それであれば、伊勢崎市教育委員会に対して予算要求をすればよいではないか」ということになりそうですが、そうできない事情があります。



それは、そもそもこの「マーチング・バンド」は、正規の教育課程の中に位置付けられていない活動なのです。ですから、極端なことを申し上げれば、マーチング・バンドを行わなくてもよいのです。

しかしながら、このマーチング・バンド活動は、音楽的完成度を追究する音楽教育であり、子どもたちはこの活動を通して、協調性や集団の中の個人の責任の大切さを学びとることが出来ます。また、共創する喜びを感じる場、音楽を通じて豊かな情操を高める場としても大いに教育的意義は高いものがあります。

金額も金額ですから、教職員・児童はもちろんですが、保護者(PTA)の方々、三郷地区の皆様方にもぜひお考えや妙案をお聞かせいただき、なんとかしていきたいと思っております。私たち教職員だけではどうにもなりません。ご協力とご教示をお願い申し上げます。